

## 教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒  
明るく思いやりのある生徒  
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ丘」



第 18 号

平成30年11月28日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

# 創立70周年、地域の先達に感謝



**さらなる成長を生徒と共に誓います**

11月17日(土)、午前中の授業参観に引き続き、午後から創立70周年記念式典を挙行了しました。

私がこの式典の中で発信したかったのは、本校創設時の生徒、保護者の皆さんと、以来70年にわたり本校を支え、見守ってくださった同窓会や地域の皆さんへの敬意と感謝の気持ちです。そして、生徒を代表してあいさつをしてく

れた生徒会長の小川巧真くんの決意の言葉を引き取って、胸を張って「うちの子ども(生徒)たちを見てください。」と言えるよう、生徒と共に精進していくことをご参会の皆さんにお誓いしました。全校生に「来賓の方々の前で『うちの子どもたちを見てください』と言っていいですか」と問いかけ、「はい」というしっかりした返事が返ってきたとき、私は誇らしい気持ちでいっぱいでした。実は、そういう返事が返ってくることを信じており、生徒はそれに応えてくれたのです。

主催者あいさつでは、実行委員長の志波謙一PTA会長が、生徒に向かって、「70年の歴史を結びつけている『絆』を確認することで未来に向かう力と勇気を得て、希望を持って未来を展望できる。」と述べてくれました。橋本克也市長様からは、「70年の輝かしい歴史と伝統を礎として、『文武両道』の誇らしい校風のもと、大きく成長されることを心から期待しております。」とのご祝辞を頂戴しました。感謝状を贈呈させていただいた方々は、裏面の下段に掲載しています。代表してごあいさつをいただいた第17代校長の岡田輝夫様は、奇しくも16年前に合唱部が全国大会で金賞を受賞したときの校長先生です。当時のエピソードに触れながら「これからも須二中生の活躍を応援しています。」と、心のこもった激励をいただきました。

お詫び：あぶくま時報とマメタイムスに掲載された校長のあいさつで、本校校歌が昭和23年制定とありますが、正しくは昭和27年です(こちらのミスです)。



橋本克也市長様



感謝状贈呈の様子



岡田輝夫様

## ラモスさんにも「うちの子どもたちを見て」いただいた ハートに突き刺さる夢にかける情熱

式典の後は、テレビでもおなじみのサッカー元日本代表のラモス瑠偉さんによる記念講演「夢をあきらめない」でした。ラモスさんは、講演会終了後「サービスしすぎた。」とつぶやきながら、新幹線に乗るため会場から玄関まで直行し大急ぎでお帰りになりました。講演会の終盤、「君たちはちゃんとできているけど、大人の話は黙って聞くべきだ。」とっていました。本校生はそれがよくできていて、



なおかつ反応もよかったので「サービスしすぎた。」ということだったのでしょうか。私たちの「うちの子どもたちを見てください」という思いがラモスさんにも伝わったんだなと思うと、うれしくてたまりません。

「失敗してもあきらめない」「ぶれない」「人の力を借りることは悪いことじゃない」「自分に足りないものがあったら誰よりも練習しろ」「やってみるじゃなくて、やってやる」など、たくさんの言葉が心に突き刺さりました。

「ハートが伝わったんだ。」ラモスさんは言いました。彼と生徒のハートが通じ合った素晴らしい時間になりました。

## ひと味違うぞ！中学生



11月22日(木)、須賀川二小・阿武隈小・柏城小の先生方に来ていただいて、小中一貫教育第2回全体研修会を開催しました。

上の写真は、授業公開(1年・保健体育「ダンス」)の様子です。この授業では、現代的なリズムのダンスをグループごとに発表し、それを観察して互いの動きを分析し、改善点を見つけることをねらいとしました。気づいたことを付箋に書いて、それを分類して考察するKJ法という思考ツールを活用しています。

保健体育の他にも国語・数学・社会・理科・英語・音楽・自立活動など、合わせて8つの授業を公開しました。どの授業でも、主体的に活動し、対話を通して高め合う生徒たちの姿が見られ、成長を感じることができました。

さて、ダンスの授業に話を戻します。子どもたちの書く様子を見て、「目が近いんじゃないの？」と私が声をかけると、「どのくらい離せばいいんですか」「30cmくらい」「30cmってどのくらい」「このくらいかな」「目が悪くなっちゃうもんね」と、生徒同士で会話がつながっていきます。打てば響く子どもたちです。

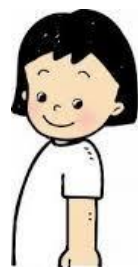
私が「目が悪くなるだけじゃなくて、姿勢がいいか悪いかは勉強にも影響するんだよ。」と言ったら食いついてきました。しかし、これ以上話を続けることは授業者の迷惑になりますから、「学校だよりに書くから読んでよ。」と言って、話を切り上げました。それが、右欄の「正しい姿勢の効用」です。皆様からお子さんにも紹介してください。

## 正しい姿勢の効用

小中一貫教育を進めるうえで、子どもの発達の特徴を理解しておくことが重要です。体育面の発達の特徴を理解するために、私が読んだ「運動神経のいい子に育てる本～スポーツができると頭もよくなる！」(別冊宝島)という本の中で、脳医学の林成之博士が、「文武両道の子どもを育てるためには、正しい姿勢を身につけることが何より大切だ。」と言っています。正しい姿勢は、脳の空間認知力の発達に影響するからだとして、その発達は、次の能力の発達にも影響を与えるのだと説いていました。

- 時間や空間の長さをイメージする能力
- モノを見て絵や図を書く能力
- 本を読んでイメージをふくらませる能力
- バランスを取る能力
- 自分と他との位置関係を把握する能力
- 数学の諸能力、など

また、極度に緊張すると笑顔がなくなり、声を



出して笑うと緊張がほぐれるといったように、心と体は互いに影響合っています。正しい姿勢は、活力と自信を感じさせます。自信を高めて生き生きと取り組んだ方が、

勉強でも運動でもパフォーマンスを高めることになるのです。正しい姿勢は、小学校時代からの習慣が大切だということです。

## 感謝状を贈呈した皆様です

### 歴代校長

第16代 奥河敏男様 第17代 岡田輝夫様 第18代 高原孝一郎様 第19代 渡辺孝和様  
第20代 渡部修一様 第21代 久保直紀様 第22代 菊池 進様

### 歴代父母と教師の会会長

第24代 斎藤敏夫様 第25代 野村重忠様 第26代 榊原功城様 第27代 大内康広様  
第28代 渡邊司郎様 第29代 安藤基寛様 第30代 石堂正章様 第31代 柳沼 正様  
第32代 柳沼雅彦様 第33代 柏原博行様 第34代 古川修一様 第35代 中山雄一様  
第36代 柳沼 基様 第37代 吉田伸司様

### 歴代体育文化後援会会長

第17代 野村重忠様 第18代 橋本昌幸様 第19代 有馬正則様 第20代 薄井正信様  
第21代 小野寺仁様 第22代 大楽活実様 第23代 安藤 徹様 第24代 佐藤明夫様  
第25代 矢吹賢二様 第26代 浅井明彦様 第27代 永山 靖様 第28代 圓谷由加様  
第29代 中野敏子様 第30代 渡部好三様 第32代 水野寛幸様

### 特別功労者

伊藤克一様

この学校だよりは、本校HPからもご覧いただけます。